

第18回全道保育集会特集

規制緩和、保育指針改訂を考える

「多様な特色ある保護者との対応」についても

民営化問題

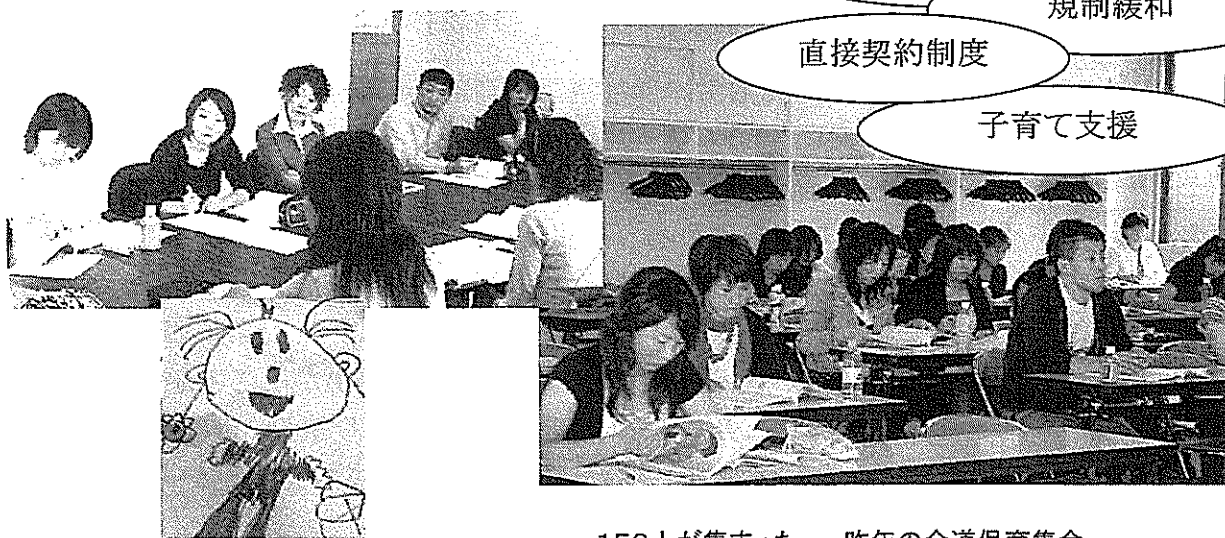
障害児支援

保育の質

規制緩和

直接契約制度

子育て支援



150人が集まった、一昨年の全道保育集会

少子化社会の中で、次世代育成支援の充実や待機児童対策として、保育所の役割が注目されています。しかし、その方向は、運営財源をめぐる問題と規制緩和の動きとが連動し、いっそう厳しさを増しています。

また、公立保育所の民営化・民間移譲にむけた提案や市町村合併の絡みでの統廃合問題、そして新たな認定子ども園を含む幼保一元化への活発な動き、また職場では過重労働と非正規職員の増加など労働組合として対応すべき課題が多発しています。

更に来年、保育指針が改定され、更に障害児支援の中でも保育の質の向上が求められています。

こうした中、自治労道本部として、全道保育集会を開催し、保育所・幼稚園・学童・児童館をめぐる保育関係職場の課題整理とその対処方針について議論したいと考えます。

多くの皆さんの参加をお願いいたします。

2008年 **8** 月 **23** 日(土) 9時30分~17時
札幌市・北海道自治労会館(札幌市北区北6条西7丁目)